

編集後記

3月、弥生。3月3日桃の節句。5日啓蟄。20日春分の日。そして卒業式。やはりこれらの響きは春そのもの、springです。何かいいことが起こりそうな予感がしませんか。そう言えば、今年の国家試験は3月3日ひな祭りの日でした。受験した人たちは発表までしばらくの間、不安との戦いかもしれません。読み方によっては「さんざん」にもなるし、しかも仏滅だったし、なんて考えだすともうどうにも止まらなくなります。でも、そんなこと気にしないで、自分の実力を信じて、デンと構えてその日を待ちましょう。「天は自ら助くる者を助く」と言いますから。

最近、理学療法士養成施設の急増によって実習施設の確保が困難になっているようです。実習に出かけていく学生の変化も伝え聞きます。実は指導者も変化してきていて、病院の考え方や患者さん自身の要求度も変わってきているようです。厚生省の指定規則も変わって実習施設が一部病院以外でも可能になってきました。このようなさまざまな変化を正しく

認識して、必要な対策を練ることが私たちには求められています。

特集で湯元、小嶋両氏には調査をもとに今の臨床実習における課題を整理していただきました。その結果どうあるべきかは読者の皆様でお考えいただかなければなりません。両氏も述べておられるように、実習に関わる関係者同士が、内容のある相互協議をするべき時が来ています。

厚生省の指定規則が改定され、早1年が過ぎました。それぞれの養成校でカリキュラムの編成作業が大変であったろうと思いますが、臨床実習については思い切った変更ができたでしょうか。森田氏の報告のように、病院以外での実習にはまだまだ課題も多いようです。しかし、一方で学ばなければならない部分もまたかなり多いようです。これから病院以外の施設で実習を経験する学生も増えてくることになりそうですが、充実した実習生活になることを期待しています。

来月から新年度の実習生がやって来る病院、施設も多いことでしょう。今月号が多少でもお役に立てれば幸いです。

(吉尾雅春)

編集顧問

上田敏
五味重春
津山直一
福屋靖子
松村秩
横山巖
(五十音順、以下同じ)

編集委員

網本和
安藤徳彦
内山靖
大川弥生
高橋正明
鶴見隆正
奈良勲
吉尾雅春

編集同人

伊藤俊一
今川忠男
上田陽一郎
大峯三郎
岡西哲夫
辛島修二
菊地延子
木山喬博
工藤俊輔
佐々木伸一
佐藤秀剛
高口光子
高田京子
寺山久美子
富樫誠二
富田昌夫
長尾哲男
仲間理弘
長澤弘
永富史子
中村春基
橋元隆治
濱出茂治
福田恵美子
前田哲男
牧田光代
丸田和夫
丸山仁司
宮本省三
諸橋勇彦
八木範儀
山本和

理学療法ジャーナル

(第34巻 第3号)

2000年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価(本体1,650円+税)

(配送料92円)

2000年々ぎめ予約購読料 20,280円
(税込)
(送料弊社負担)

E-mail: ptj@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:長谷川・富永)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2000, Printed in Japan

本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

R <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き、禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。